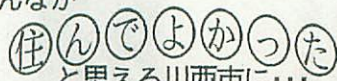


暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして

みんなが



たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 黒田みち

市議会議員控室 TEL740-1111 (内線4020)

直通FAX759-1811

黒田みち事務所 TEL 795-4760

たんぽぽだよりブログ

http://kurodamich.exblog.jp



2009平和行進 IN 川西

猪名川町内を循環している「ふれあいバス」を川西病院まで延伸するよう求めた私(黒田)の質問に対して、「課題があるが、具体的な協議・調整を進めたい」と前向きな答弁がありました。

市立川西病院の利用者は現在、川西市60%、猪名

川西病院までの延伸を要請

新しい炉は4月稼働後運転休止や火災、排ガス異常など「不適合事象」を何度も起こしています。

新炉で相次ぐ事故

判決では、「談合は、秘密裡に行なわれるものであるから、原告住民らがその証拠を立証することは難しい」「談合を疑う余地

猪名川ふれあいバス 「具体的協議」と前向きな答弁

川、能勢、豊能40%。1台・丸山台の住民の方を含め、病院までバス1本で行くことができたらとても助かります。また、患者が増えれば、病院経営にも貢献、一挙両得であることから、財政的支援を含め市と町が連携し、住民の利便性確保をすべきと提案してまいりました。

企画政策 猪名川町の「ふれあいバス」市立川西病院へ延伸できないか

議員 市立川西病院は、本市だけでなく、猪名川町の住民にとっても重要な拠点病院である。同町では、町内を循環する「ふれあいバス」を運行していることから、市民も利用できるよう本市と同町が共同運行し、このバス路線を市立川西病院へ延伸させる考えはないか伺いたい。

企画財政部長 市立川西病院へのアクセス確保は、圏域住民の利便性を高めるほか、病院経営の安定を図る面からも検討が必要と認識している。同バス路線の延伸には、自治体間の費用負担の問題や交通事業者等との調整など、課題があるが、具体的な協議・調整を進めていきたい。

焼却場「談合」の証拠がたつなら「残念ながら住民の訴え棄却

「健康長寿・子育て」では、ひとり親家庭や女性のがん検診への助成をしますが、「1年限り」でいいのかどうか。(1部は9月議会にかかります。)

「低炭素革命」の項では、「学校ICT環境の整備」に2億1000万円。50型テレビ69台を含むデジタルテレビ171台を学校、公民館に配置するほか、公務用パソコンなど757台、液晶プロジェクター206台などを購入します。低公害車2台購入に445万円。

「雇用対策」の項では3994万円。国のしほりで3ヶ月、1年の臨時採用に限られ、本当の雇用対策とは程遠い内容。「理科教育の備品購入(2474万円)」では、ピーカーなど購入しても、老朽化した校舎の排水等の対策はしないまま。実験用の薬品・材料などの予算、ICT化による光熱水費の増加による教育予算の対応は不透明のまま。

久しぶりに「全国保育園体合同研究会」(大阪舞洲アリーナ)に出かけた。よりよい保育、ゆたかな子育てをめざして12500人を超える保育士、保護者、研究者、地域の人々が交流し、若い人達の熱気を感じた。

くらし・福祉・教育優先の市政をめざして みんなが住んでよかつた

ご意見・ご要望をお寄せください

自公政権退場、安心と希望ある政治

この願いを日本共産党に

志位和夫委員長が21日、衆院解散後に東京・新宿駅西口、横浜駅西口で行った街頭演説の内容

衆院解散緊急街頭演説

志位委員長の訴え

本日午後、衆議院が解散され、国民が待ちに待った総選挙が行われます（拍手）。この総選挙は、主権者・国民が、ゆきつまった自公政権を終わらせる決定的な「審判」をくだす選挙であります（「そつだ」の声、大きな権）

よ」という、ごつごつた国民の声となっているのではないのでしょうか。「自公政権を終わらせよう」という審判をくださうじみなさん。もはや自公政権がこれ以上続くことありませぬか。

暮らしの安心と希望を奪った自公政権——さようならの審判を

みなさん。すでに圧倒的多数の国民は自公政権を見放しています。それは首相が漢字を読めないとか、閣僚が酔っ払って記者会見をするとか、党内で内紛が絶えないなどの個々の問題だけに原因があるわけではありません。

自公政権のもとで、国民のみなさんの暮らしの安心が奪われ、希望が奪われました。派遣労働に象徴される、人間をモノのように「使い捨て」にする非正規雇用労働者が、労働者全体の34%に達し、横浜市で働く（さ

貧困から抜け出せない、年収200万円以下という「働く貧困層」の人々が1000万人を超えて広がっています。社会保障費の自然増を、毎年、2200億円も削減し続けた結果、医療も、介護も、年金も、暮らしを支える福祉がズタズタになってしまっています。

な政治が続いている、国民の暮らしが土台から壊され、社会の活力はなくなり、日本は衰退してしまふ。この不安と怒りが「自公政権は退場せ



伸ばしてこそ！ 希望と安心の日本 白川ただし



抜粋

「建設的野党」として三つの仕事にくりかえします

さて、みなさん、自公政権を退場させた後の政権はどうなるのでしょうか。いまの力関係のもとでは、民主党中心の政権ができる可能性が大きいことは事実でしょう。民主党中心の政権が成立したら、日本共産党はどうするのか。

この立場から私たちは、21世紀の日本の「進むべき道」として、次の「二つの旗印」を掲げ、行動しております。

（1）「ルールある経済社会」
（2）「自主・自立の平和外交」

「国民が主人公」の民主連合政府をつくるための国民的共同を発展させる

第一は、国民の切実な要求を実現する立場で、政策を積極的に提起し、課題ごとに一致点で協力し、政治を前に動かす「推進者」の役割を果たすことでもあります。

第二は、民主党がいま明らかにしている危ない政策が具体化される動きが起こったときには、それを許さない「防波堤」となっていくことです。

歴史の新しい扉を開く選挙——最大の焦点は日本共産党の前進・躍進

